2020年8月11日

玉野市長

　黒 田　晋 様

玉野市教育長

　妹 尾　均 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 日本共産党玉野市委員会

 委員長　井 上 素 子

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 日本共産党玉野市議団

 団 長 松 田 達 雄

 細 川 健 一

**新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書(第3次分)**

　新型コロナウイルス対策についてご尽力いただいていることに敬意を表します。

　「新型コロナ」感染者は7月以降、急激に増加し感染が拡大しており、8月6日時点で国内感染者4万4千人を超え、岡山県内でも8月6日現在で累計感染者数は102人にのぼり、深刻な事態になっています。引き続き、感染防止に取り組むとともに、私たちがこれまで提出してきた第1次、第2次要望を踏まえ、市民の命と健康を守り、市民生活と中小企業・事業者への支援に向けていっそうの施策の拡充を求め、第3次要望として下記事項に取り組まれますよう緊急に申し入れるものです。

1. 「GO TOトラベル」実施の強行など、政府の実効ある感染拡大防止策が示されないなかで、感染者が急増し医療崩壊を引き起こす懸念が強まっています。国・県に対して、PCR等検査を大規模に実施し、陽性者を隔離・保護・治療する体制を緊急につくるよう求めること。また、感染震源地(エピセンター)を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対して、PCR等検査が実施できるよう要望すること。
2. 国・県に対して、PCR等検査を防疫目的に切り替え、「誰でも、いつでも、何度でも」検査がうけられるよう検査体制を戦略的に拡大し、地域ごとの感染状態がわかるよう情報を住民に公開するよう要望すること。
3. 医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員、出入りの業者への定期的なPCR等検査を行い、必要に応じて、施設利用者全体を対象にした検査が実施できる体制を早急に確立するよう、国・県に強く要望すること。
4. 市民の命と健康を守るため県等に医療体制、PCR等検査体制の抜本的拡充を強く求めるとともに、医師会、県、保健所等と協議し、市の独自対策としてPCR等検査ができる体制を構築すること。
5. 「新型コロナ」な危機に対応して、くらし、雇用、休業、経済支援策等の相談について、ワンストップの総合相談窓口を設置するとともに、市民病院においても電話等による医療相談窓口を設置すること。
6. 医療機関、介護施設、障がい者施設などへの財政支援の拡充を国や県に求めるとともに、市独自の支援を行うこと。
7. 地元中小企業、事業者への継続的で持続的な支援を行うこと。

住宅リフォーム助成制度を復活し、地域の経済振興対策につなげること。

1. 国保料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免について、申請手続きの際に国が示す以上の資料(経費明細等)の提出要求は止め、近隣他市並みに申請書類を簡素化し改善すること。減免制度の内容を市民に周知徹底し、資格証明書交付世帯にも保険証を交付して、安心して医療が受けられるように支援すること。
2. 国保会計の黒字繰越金を活用し、国保料を1世帯当たり年間7千円程度の引き下げを実施すること。
3. 国民健康保険の傷病手当支給について、自営業者、農家、フリーランスなども対象にすること。
4. 水道料の営業用に限って申請により2期分(4か月分)の基本料金の減免を実施していますが、市民生活を支援するため、多くの自治体が実施している水道料基本料金の減免をすべての市民・事業者を対象に拡充し実施すること。
5. 特別給付金を基準日(4月27日)以降に出生した新生児へ市独自で支給すること。
6. 高齢者の触れ合いの場が減少しており、高齢者に対するアウトリーチ型の支援強化など、認知症対策、健康維持のための支援強化に取り組むこと。
7. 各市民センターの窓口業務を再開し、地域住民の暮らし、福祉、地域行政サービスの拠点施設、市役所の支所として位置づけ、コロナ禍のもと地域の振興・活性化を図ること。
8. 公共施設の利用制限により、利用可能数が半減しており、使用料の暫定的な減免措置を行うこと。
9. 「3密」を避けるため小中学校の少人数学級の拡大・具体化を図ること。教職員を増員すること。学校行事について、一律に中止とはせず、自主的に判断ができるようにすること。
10. エアコンを早期に全教室に設置するとともに、エアコン使用は子どもたちに快適な学習環境を提供する観点から柔軟に使用できるよう改善すること。
11. 国等からのコロナ対策交付金に対して、約1億2千万円が未だ予算化されず、本市独自の財政措置による支援策は未定です。思い切った市独自の財政投入により、上記要望事項の実現と、いっそうの支援策や感染防止策に取り組むよう要望いたします。